

[nozaki_11]

活動タイトル	シリーズ「地球温暖化」2016 第2回目 苫小牧の今夏の気象について
実施日	2016年8月27日
場所	(苫小牧市)
対象数	10人
内容	<p>今夏(7月・8月)の気象現象について、「気温」、「降水量」、「湿度」などに着目して、アンケート調査を通じて、どうだったのかを過去の苫小牧や道内各地のデータと比較しながら、その違いについて学習しました。</p> <p>7月には発生がほとんどなかったにもかかわらず、8月に入り、立て続けに発生した台風や、8月16日から22日の1週間で北海道に上陸した台風に触れ、道内の被害の有り様が、毎年、本州で必ず起きる水害のようであったことが深く印象にあったようで、異常気象の現実を受け止めていました。</p> <p>今夏の一連の気象現象は、一概に温暖化だけの影響ではなく、海水温による影響や日本上空を流れる偏西風による要因であることに理解を示したが、道外に上陸せずに、いきなり道内に上陸する台風や週3度の台風の来襲は、過去にこのような事例がないことから、気候が変化してきていることを裏付けるものであり、温暖化による影響が関与していることを理解してもらおう出来事として参加者の胸に深く刻みこまれたと思います。</p>
実施写真等	